

マラキ1: マラキ書 第1章

マラキ1:1 マラキによってイスラエルに臨んだ主の言葉の託宣。

マラキ1:2 主は言われる、“わたしはあなたがたを愛した”と。ところがあなたがたは言う、“あなたはどんなふうに、われわれを愛されたか”。主は言われる、“エサウはヤコブの兄ではないか。しかしわたしはヤコブを愛し、

マラキ1:3 エサウを憎んだ。かつ、わたしは彼の山地を荒し、その嗣業を荒野の山犬に与えた”。

マラキ1:4 もしエドムが“われわれは滅ぼされたけれども、荒れた所を再び建てる”と言うならば、万軍の主は“彼らは建てるかもしれない。しかしわたしはそれを倒す。人々は、彼らを悪しき国となえ、とこしえに主の怒りをうける民となえる”と言われる。

マラキ1:5 あなたがたの目はこれを見て、“主はイスラエルの境を越えて大いなる神である”と言うであろう。

マラキ1:6 子はその父を敬い、しもべはその主人を敬う。それでわたしがもし父であるならば、あなたがたのわたしを敬う事実が、どこにあるか。わたしがもし主人であるならば、わたしを恐れる事実が、どこにあるか。わたしの名を侮る祭司たちよ、と万軍の主はあなたがたに言われる。とこ◆

1,6-1,言われる。ところがあなたがたは‘われわれはどんなふうにあなたの名を侮ったか’と言い、

マラキ1:7 汚れた食物をわたしの祭壇の上にささげる。またあなたがたは、主の台は卑しむべき者であると考えて、‘われわれはどんなふうに、それを汚したか’と言う。

マラキ1:8 あなたがたが盲目の獣を、犠牲にささげるのは悪いことではないか。また足のなえたもの、病めるものをささげるのは悪い事ではないか。今これをあなたのつかさにささげてみよ。彼はあなたを喜びあなたを受け入れるであろうかと、万軍の主は言われる。

マラキ1:9 あなたがたは、神がわれわれをあわれまれるように、神の恵みを求めてみよ。このようなあなたがたの手のささげ物をもって、彼はあなたがたを受けいられる。であろうか、万軍の主は言われる。

マラキ1:10 あなたがたがわが祭壇の上にいたずらに、火をたくことのないように、戸を閉じる物があなたがたのうちに、ひとりあったらいいのだが。わたしはあなたがたを喜ばない、またあなたがたの手からささげ物を受けないと、万軍の主は言われる。

マラキ1:11 日の出る所から没する所まで、国々のうちにわが名はあがめられている。また、どこでも香と清いささげ物が、わが名のためにささげられる。これはわが名が国々のうちにあがめられているからであると、万軍の主は言われる。

マラキ1:12 ところがあなたがたは、主の台は汚れている。またこの食物は卑しむべき物であると言って、これを汚した。

マラキ1:13 あなたがたはまた‘これはなんと煩わしい事が’と言って、わたしを鼻であしらうと、万軍の主は言われる。あなたがたはまた奪った物、足なえのもの、病めるものを、ささげ物として携えて来る。わたしはそれを、あなたがたの手から、受けるであろうかと主は言われる。

マラキ1:14 群れのうちに雄の獣があり、それをささげると誓いを立てているのに、傷のあるものを、主にささげよう偽り者はのろわれる。わたしは大いなる王で、わが名は国々のうちに恐れられるべきであると。万軍の主は言われる。

マラキ***:

マラキ***:

マラキ***:

マラキ***:

マラキ***:

マラキ2: マラキ書 第2章

マラキ2:1 祭司たちよ、今この命令があなたがたに与えられる。

マラキ2:2 万軍の主は言われる、あなたがたがもし聞き従わず、またこれを心に留めず、わが名に栄光を帰さないならば、わたしはあなたがたの上に、のろいを送り、またあなたがたの祝福をのろいに変える。あなたがたは、これを心に留めないで、わたしはすでにこれをのろった。

マラキ2:3 見よ、わたしはあなたがたの子孫を責める。またあなたがたの犠牲の糞を、あなたがたの顔の上にまき散らし、あなたがたをわたしの前から退ける。

マラキ2:4 こうしてわたしが、この命令をあなたがたに与えたのは、レビと結んだわが制約が、保たれるためであることを、あなたがたが知るためであると、万軍の主は言われる。

マラキ2:5 彼と結んだわが契約は、生命と平安との契約であって、わたしがこれを彼に与えたのは、彼にわたしを恐れさせるためである。彼はすでにわたしを恐れ、わが名の前におののいた。

マラキ2:6 彼の口には、まことの律法があり、そのくちびるには、不義が見られなかった。彼は平安と公義とをもって、わたしと共に歩み、また多くの人を不義から立ち返らせた。

マラキ2:7 祭司のくちびるは知識を保ち、人々が彼の口から律法を尋ねるのが当然である。彼は万軍の主の使者

だからだ。

マラキ2:8 ところが、あなたがたは道を離れ、多くの人を教えてつまづかせ、レビの契約を破ったと、万軍の主は言われる。

マラキ2:9 あなたがたはわたしの道を守らず、律法を教えるに当って、人にかたよったがために、あなたがたをすべての民の前に侮られ、卑しめられるようにする”。

マラキ2:10 われわれの父は皆1つではないか。われわれを造った神は1つではないか。なにゆえ、われわれは先祖たちの契約を破って、おのおのその兄弟に偽りを行うのか。

マラキ2:11 ユダは偽りを行い、イスラエルおよびエルサレムの中には憎むべき事が行われた。すなわちユダは主が愛しておられる聖所を汚して、他の神に仕える女をめとった。

マラキ2:12 どうか、主がこうした事を行う人をば、証言する者も、答弁する者も、また万軍の主にささげ者をする者をも、ヤコブの幕屋から断たれるように。

マラキ2:13 あなたがたはまたこのような事をする。すなわち神がもはやささげ物をかえりみず、またこれをあなたがたの手から、喜んで受けられないために、あなたがたは涙と、泣くことと、嘆きとをもって、主の祭壇をおおい、

マラキ2:14 “なぜ神は受けられないのか”と尋ねる。これは主があなたと、あなたの若い時の妻との間の、契約の証人だったからである。彼女は、あなたの連れ合い、契約によるあなたの妻であるのに、あなたは彼女を裏切った。

マラキ2:15 1つの神は、われわれのために命の霊を造り、これをささえられたではないか。彼は何を望まれるか。神を敬う子孫であるゆえ、あなたがたはみずから慎んで、その若い時の妻を裏切ってはならない。

マラキ2:16 イスラエルお神、主は言われる、“わたしは離縁する物を憎み、また、しえたげをもってその衣をおおう人を憎むと、万軍の主は言われる。ゆえにみずから慎んで、裏切ることをしてはならない”。

マラキ2:17 あなたがたは言葉をもって主を煩わした。しかしあなたがたは言う、“われわれはどんなふうにも、彼を煩わしたか”。それはあなたがたが“すべて悪を行う者は主の目に良く見え、かつ彼に喜ばれる”と言い、また“さばきを行う神はどこにあるか”と言うからである。

マラキ***:

マラキ***:

マラキ***:

マラキ***:

マラキ***:

マラキ3: マラキ書 第3章

マラキ3:1 “見よ、わたしはわが使者をつかわす。彼らはわたしの前に道を備える。またあなたがたが求める所の主は、たちまちその宮に来る。見よ、あなたがたの喜ぶ契約の使者が来ると、万軍の主が言われる。

マラキ3:2 その来る日には、だれが耐え得よう。そのあらわれる時には、だれが立ち得よう。彼は金をふきわたる者の火のようであり、布さらしの灰汁のようである。

マラキ3:3 彼は銀をふきわけて清める者のように座して、レビの子孫を清め、金銀のように彼らを清める。そして彼らは義をもって、ささげ者を主にささげる。

マラキ3:4 その時ユダとエルサレムとのささげ者は、昔の日のように、また先の年のように主に喜ばれる。

マラキ3:5 そしてわたしはあなたがたに近づいて、さばきをなし、占い者、姦淫を行う者、偽りの誓いをなす者にむかい、悪人の賃金をかすめ、やめと、みなしごとをしえたげ、寄留の他国人を押しつけ、わついを恐れない者どもにむかって、すみやかにあかしを立てると、万軍の主は言われ◆

3,5-1,万軍の主は言われる。

マラキ3:6 主なるわたしは変ることがない。それゆえ、ヤコブの子らよ、あなたがたは滅ぼされない。

マラキ3:7 あなたがたは、その先祖の日から、わが定めを離れて、これを守らなかった。わたしに帰れ、わたしはあなたがたに帰ろうと、万軍の主は言われる。ところが、あなたがたは‘われわれはどうして帰ろうか’と尋ねる。

マラキ3:8 人は神の物を盗むことをするだろうか。しかしあなたがたは、わたしの物を盗んでいる。あなたがたはまた‘どうしてわれわれは、あなたの物を盗んでいるのか’と言う。10分の1と、ささげ物をもってである。

マラキ3:9 あなたがたは、のろいをもって、のろわれる。あなたがたすべての国民は、わたしの物を盗んでいるからである。

マラキ3:10 わたしの宮に食物のあるように、10分の1全部をわたしの倉に携えてきなさい。これをもってわたしを試み、わたしが天の窓を開いて、あふるる恵みを、あなたがたに注ぐか否かを見なさいと、万軍の主は言われる。

マラキ3:11 わたしは食い滅ぼす者を、あなたがたのためにおさえて、あなたがたの地の産物を、滅ぼさないようにしよう。また、あなたがたのぶどうの木が、その熟する前に、その見を畑に落すことのないようにしようと、万軍の主は言われる。

マラキ3:12 こうして万国の人は、あなたがたを祝福された者となえるであろう。あなたがたは楽しい地となるからで

あると、万軍の主は言われる。

マラキ3:13 主は言われる、あなたがたは言葉を激しくして、わたしに逆らった。しかもあなたがたは‘われわれはあなたに逆らって、どんな事を言ったか’と言う。

マラキ3:14 あなたがたは言った、‘神に仕える事はつまらない。われわれがその命令を守り、かつ万軍の主の前に、悲しんで歩いたからといって、なんの益があるか。

マラキ3:15 今われわれは高ぶる者を、祝福された者と思う。悪を行う者は栄えるばかりでなく、神を試みても罰せられない’。

マラキ3:16 そのとき、主を恐れる者は互に語った。主はみみを傾けてこれを聞かれた。そして主を恐れる者、およびその名を心に留めている者のために、主の前に1つの覚え書がしるされた。

マラキ3:17 “万軍の主は言われる、彼らはわたしが手を下して事を行う日に、わたしの者となり、わたしの宝となる。また人が自分に仕える子をあわれむように、わたしは彼らをあわれむ。

マラキ3:18 その時あなたがたは、再び義人と悪人、神に仕える者と、仕えない者との区別を知るようになる。

マラキ***:

マラキ***:

マラキ***:

マラキ***:

マラキ***:

マラキ4: マラキ書 第4章

マラキ4:1 万軍の主は言われる、見よ、炉のように燃える日が来る。その時すべて高ぶる者と、悪を行う者とは、わらのようになる。その来る日は、彼らを焼き尽くして、根も枝も残さない。

マラキ4:2 しかしわが名を恐れるあなたがたには、義の太陽がのぼり、その翼には、いやす力を備えている。あなたがたは牛舎から出る子牛のように外に出て、とびはねる。

マラキ4:3 また、あなたがたは悪人を踏みつけ、わたしが事を行う日に、彼らはあなたがたの足の裏の下にあって、灰のようになると、万軍の主はいわれる。

マラキ4:4 あなたがたは、わがしもべモーセの律法、すなわちわたしがホレブでイスラエル全体のために、彼に命じた定めとおきてとを覚えよ。

マラキ4:5 見よ、主の大きいなる恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤをあなたがたにつかわす。

マラキ4:6 彼は父の心をその子供たちに向けさせ、子供たちの心をその父に向けさせる。これはわたしが来て、のろいをもってこの国を撃つことのないようにするためである”。